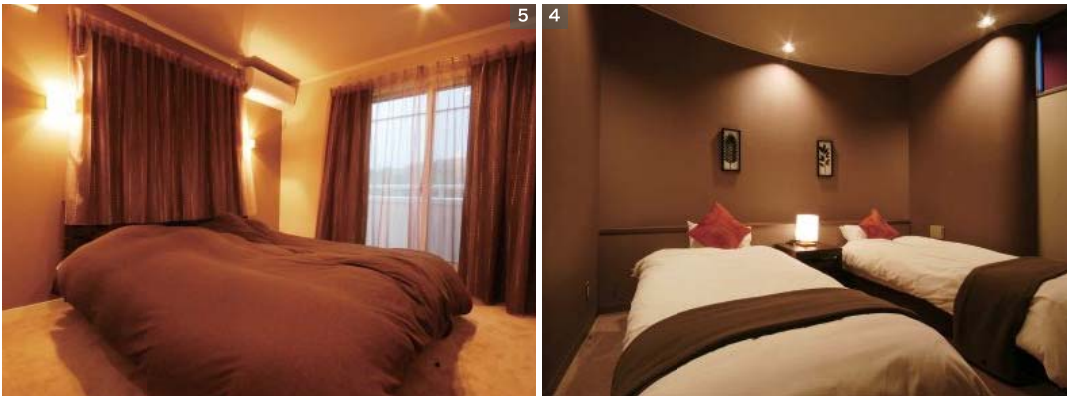


Feng-Shui Gallery

special edition vol.24

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『寝室 vol.2』



【写真1】 暖かみのあるサーモンピンクの壁紙と、フリルのレースカーテンが印象的な寝室。家具は白で統一されており、とてもすっきりとした空間になっています。**【写真2、4】** 枕側の壁面の色を変えることで、頭上安定して良い睡眠をとることができます。ベッドや枕カバーにアクセントカラーを用いて、空間の質を引き立てています。**【写真3】** 床の色を濃くすると、空間の安定感が増し、精神的に落ち着く部屋になります。レースのシェードカーテンは柄がきれいなモノが多いので、部屋側に取り付けるとアクセントとなり効果的です。**【写真5】** 使用する色を極端に減らした寝室。カーテンやカーペットを質感の高いモノにすることによって、とても落ち着いて暖かみのある、それでいてすっきりとした空間になっています。**【写真6、7】** 壁面ではなく、カーテンの色でアクセントをつけた寝室。シンプルで明るいイメージになっています。朝スッキリと目覚めたいという方に向いているデザインといえます。



【大写真】 パープル系統で統一された寝室は、やわらかさと、さわやかさを兼ね備えた空間となっています。濃いめの紫色を部屋のコーナーの柱にのみ使用することで、効果的なアクセントとなり、空間のバランスをとっています。



色彩のバランスがとれた空間にすることで 脳が整い、心地よい眠りにつくことができる

寝室をデザインする場合に、まず第一に考えなければならないことは、心地よく眠りにつける空間にするということです。あまりモノは置かずに、すっきりとした空間にすると、ゆつくりと休むことができます。

また、色彩においても同じことがいえます。モノと同様に色も視覚から入ってくる情報ですので、ごちゃごちゃした配色では脳が落ち着くことができません。空間の色相を合わせ、ビビットな色は床や壁面等の広い面には用いないなどの配慮が必要です。

照明はなるべく電球色のランプを使用します。そうすると副交感神経が優位になりやすく、良い睡眠をとることができます。逆に蛍光灯の白い光は交感神経が緊張してしまうので寝室には向いていません。

そして仕上げにアロマや音楽を選び、より良い空間にしましょう。サンダルウッドやカモミールは緊張を和らげ、ネロリやラベンダーは心地よい眠りを誘う香りです。音楽はクラシックや環境音楽など、歌詞のないモノを小音で流すと良いでしょう。